

衆議院文部科学委員会ニュース

平成 30.5.18 第 196 回国会第 12 号

5 月 18 日（金）、第 12 回の委員会が開かれました。

1 文化財保護法及び地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出第 35 号）

- ・畑野君枝君（共産）が討論を行いました。
- ・原案について採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
（賛成一自民、立憲、国民、公明、無会、維新、社民、笠浩史君（無） 反対一共産）
- ・安藤裕君外 5 名（自民、立憲、国民、公明、維新、社民）から提出された附帯決議案について、西岡秀子君（国民）から趣旨説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、賛成多数をもってこれを付することに決しました。
（賛成一自民、立憲、国民、公明、無会、維新、社民、笠浩史君（無） 反対一共産）

2 文部科学行政の基本施策に関する件

- ・林文部科学大臣、丹羽文部科学副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

鰐淵洋子君（公明）

- ・日中韓教育大臣会合の意義について林大臣に伺いたい。
また、本年 3 月に行われた第 2 回会合における成果について、林大臣に伺いたい。
- ・リカレント教育はこれからの時代を生き抜くために重要なもので、国としても推進すべきものであると考えるが、林大臣の見解を伺いたい。
- ・新潟県における小学 2 年生殺害事件の発生を踏まえ、児童生徒の通学路における安全を確保する施策を講じ、子供を守る必要があると考えるが、林大臣の見解を伺いたい。

櫻井周君（立憲）

- ・安倍内閣においては、道徳の重要性を示しているにもかかわらず、公文書の改ざんやデータのねつ造等の国民へ嘘をつく事例が多く、そのことが児童生徒及び学生に悪い影響を与えていると考えるが、林大臣の見解を伺いたい。
- ・学生の男女比について、米国の大学は半々である一方で我が国の大学は女性の比率が少ないが、日米間で女性の比率に大きな差が生じている要因について、林大臣の見解を伺いたい。
- ・学校教育の在り方について、画一的な教育方法を改め、児童生徒の個性を伸ばすような教育が展開されるべきであるとするが、林大臣の見解を伺いたい。

川内博史君（立憲）

- ・旧石器時代が存在したことを考古学的に立証する群馬県みどり市の岩宿遺跡を発見した相澤忠洋氏のような、在野の考古学者の業績を正しく評価するべきと考えるが、文化庁の見解を伺いたい。
- ・相澤氏が発見し、岩宿遺跡発見の端緒となった槍先形尖頭器を重要文化財に指定するべきと考えるが、林大臣の見解を伺いたい。
- ・学校法人加計学園の獣医学部設置に係る一連の問題に関し、平成 27 年 4 月 2 日の愛媛県等職員と柳瀬元総理秘書官の面会の内容について、文部科学省から出向していた内閣官房内閣参事官が同省に当然に報告しているものとするが、文部科学省内の記録の有無を伺いたい。

平野博文君（国民）

- ・廃止措置への移行が決定した高速増殖原型炉もんじゅについて、会計検査院がその技術成果の達成度を 16%とした試算は、性能試験開始後の数値であり、設計・建設等を含めたそれ以前の研究成果を反映しておらず、同数値のみを取り上げることは誤解を招き問題であるとするが、文部科学省の見解を伺いたい。
- ・論文の被引用数や世界大学ランキングなど、我が国の研究開発力を示す指標が落ち込んでおり、状況打開のため研究資金の配分を含めた科学技術政策の抜本的な改革が必要とするが、林大臣の認識を伺いたい。
- ・若手研究者が安心して研究に専念できる環境整備のた

めの基盤的経費をはじめとする科学技術予算の確保について、林大臣の決意を伺いたい。

城井崇君（国民）

- ・教員不足により授業が受けられないという深刻な現状に関する認識及び今後の対応策について、林大臣の見解を伺いたい。
- ・部活動に外部指導員を活用する取組の更なる拡充が必要であると考えますが、今後の見通しを林大臣に伺いたい。

大見正君（自民）

- ・日本語指導が必要な児童生徒への指導内容について、統一した指導基準又は目標を国が設定し、標準カリキュラムを作り、全国で同一の指導教材を使用するべきと考えるが、文部科学省の見解を伺いたい。
- ・日本語指導者の不足に対応するため、「特別な教育課程」において、日本語指導に係る民間資格を持ち教員免許を持たない外部人材を活用するべきと考えるが、文部科学省の見解を伺いたい。
- ・日本語指導が必要な児童生徒が在籍する地方公共団体と学校をはじめとした各関係機関が連携する地域のネットワークや協議会のモデルを作る必要があると考えるが、文部科学省の見解を伺いたい。

金子恵美君（無会）

- ・新聞報道等において、全国各地の公立小中学校で必要な教員数を確保できていない状況が指摘されていることを踏まえ、文部科学省において実態把握を行い、児童生徒に与える影響を調査する必要があると考えるが、林大臣の見解を伺いたい。
- ・地方公共団体において、SNSを活用したいじめ等の相談窓口の設置が進められているが、相談員の人材確保やノウハウの確立に課題があることが指摘されており、文部科学省としてこれらの取組の支援を行う必要があると考えるが、見解を伺いたい。
- ・東京電力福島第一原発事故により福島県外へ避難した児童生徒へのいじめ防止の取組の現状について、林大臣の見解を伺いたい。

畑野君枝君（共産）

- ・教職員の正確な勤務時間の把握がされていないことが、公務災害認定請求の障害となっていることを踏まえ、学校における勤務時間管理の徹底が必要であると考えますが、文部科学省の見解を伺いたい。
- ・国の学習指導要領の標準授業時数を上回る授業時数を独自に定めている横浜市などの例が、教職員の長時間勤務を助長していると考えますが、林大臣の見解を伺いたい。

串田誠一君（維新）

- ・いわゆる「ゆとり教育」とされる平成 10 年の学習指導要領改訂について、児童生徒の学習内容がどのように変化し、結果として学力にどのような影響が及ぼされたか、文部科学省の見解を伺いたい。
- ・平成 20 年の学習指導要領改訂では授業時数が増加されるなど、「ゆとり教育」の見直しが図られたが、学校外における児童生徒の学習時間にどのような影響が及ぼされたか、文部科学省の見解を伺いたい。
- ・いわゆる「ゆとり教育世代」に対してバッシングの風潮があると見受けられるが、大学入試の成績や就職後の企業における能力評価の状況について、文部科学省の見解を伺いたい。

吉川元君（社民）

- ・教職員給与特別法（給特法）に基づいて政令で定められた 4 項目に該当しない業務を自発的な活動とみなす現行制度を改正しない限り、学校における働き方改革は不可能であると考えますが、文部科学省の見解を伺いたい。
- ・4 項目の業務以外は自発的なものとみなされるにもかかわらず、国が、その自発的な活動に係る勤務時間の上限の目安を示すガイドラインを策定するのは矛盾していると考えますが、林大臣の見解を伺いたい。
- ・数年にわたって学校における勤務時間管理の徹底を求める通知等が発出されていたにもかかわらず、学校現場での改善が見られなかった要因について、文部科学省の見解を伺いたい。

3 文部科学省設置法の一部を改正する法律案（内閣提出第 26 号）

- ・林文部科学大臣から提案理由の説明を聴取しました。